だちってとちぎ

2023
3
Vol.264

JA全農とちぎ 通信

特集

大田市場・豊洲市場で青果物をPRしました
県内外のスーパー・百貨店で県産フェアを開催!
地元の高校生と栃木の農業を盛り上げます

CONTENTS

トピックス

県内特別支援学校へ「いちご」「トマト」を贈呈しました
栃木冬春トマトの統一目揃え会を開催しました
関東東海花の展覧会が開かれました
新米キャンペーンの抽選会を実施しました
県産麦の意見交換を行いました

・お知らせ
ココス・はま寿司でとちぎの星キャンペーン実施中!
令和5年度とちぎフレッシュメイト募集!
・簡単レシピ
『牛肉たっぷりコロッケ』
・子牛市場情報
・JAタウンからのお知らせ
・行事予定
・編集後記

特集

大田市場・豊洲市場で青果物をPRしました

令和5年産栃木のいちごトップセールス実施！

本会園芸部は1月27日、東京都中央卸売市場大田市場で「令和5年産栃木のいちごトップセールス」を実施しました。

販促資材で飾りつけした会場では、とちおとめ・とちあいか・スカイベリーの展示を行ったほか、「とちあいか」100個の配布を行いました。

来場された市場関係者に対し、栃木いちご消費宣伝事業委員会の池田委員長や、とちぎフレッシュメイトがセリ場の前で挨拶をし、旬を迎えた栃木のいちごの魅力をPRしました。

挨拶をする池田委員長

池田委員長は「生産者一同、心を込めて栽培した栃木のいちごは、消費者の皆様に必ず満足していただけると確信している。今後もJAグループ一丸となり数多くのいちごを生産できるよう努力していくので、たくさんの消費者へ届けてほしい」と買参人や市場関係者へ呼びかけました。

豊洲市場で栃木のいちごと野菜をPR！

本会園芸部は2月17日、東京都中央卸売市場豊洲市場で栃木のいちごと野菜をPRしました。

販促資材で装飾した会場では、とちおとめ・とちあいか・スカイベリーの3種類のいちごのほか、栃木県を代表する野菜であるトマト、ねぎ、うど、にらなど、8種類の野菜を展示しました。

また、来場された市場関係者に対しては、本会園芸部東京青果事務所の森所長やとちぎフレッシュメイトがセリ場の前で挨拶をしたほか、「とちあいか」100個とスカイベリーグミの配布を行い、県産青果物の魅力を発信しました。

森所長は「生産費の高騰で苦しい状況の中、生産者は良質な青果物を出荷できるよう頑張っているので、市場の皆様にはぜひ販売のご協力をお願いしたい」と挨拶をしました。

特集

県内外のスーパー・百貨店で県産フェアを開催！

「コモディイイダ」で“たちつてとちぎフェア”を開催！

本会営農販売企画部は2月4日、5日の２日間、関東で86店舗を展開するスーパーマーケット「コモディイイダ」にて、“たちつてとちぎフェア”を開催しました。コモディイイダでのフェア開催は、今年で3回目となります。

同フェアでは、今が旬の「にら」「ねぎ」などの野菜、「とちおとめ」「スカイベリー」「とちあいか」などのいちご、「とちぎ霧降高原牛」や「栃木県産豚肉」などのお肉や精米「とちぎの星」を販売しました。

また、期間中には本会LINE公式アカウント「たちつてとちぎby JA全農とちぎ」を使用した抽選キャンペーンや「とちぎ和牛」が当たるクーポンの配信なども行いました。

今後も県内外でのフェア開催を通じ、栃木の農畜産物の消費拡大に向けて取り組んでまいります。

精米「とちぎの星」

精肉

いちご

FKDインターパーク店で青果物フェアを開催！ ジェラートマスモ×全農とちぎ

本会園芸部は2月18日、19日の2日間、FKDインターパーク店にて青果物フェアを開催しました。

エスカレーター前に特設会場を設け、いちご150パック、トマト50パックを各日数量限定で販売し、購入いただいたお客様には栃木のいちご大使“コリラックマ”のクリアファイルを配布しました。

また、FKDインターパーク店内にお店を構える「ジェラートマスモ」とコラボし、「とちあいか」を使用したスイーツ3種類(クレープ・ジェラート・スムージー)を数量限定販売しました。

特設会場へ来場いただいたお客様は「どの苺も粒が大きくて立派、トマトもとてもおいしそう」と笑顔で話しました。

いちごとトマトを販売する様子

ジェラートマスモ

特集

地元の高校生と栃木の農業を盛り上げます

高校生が自ら育てたとちぎ和牛を店頭ＰＲ！

2月11日～28日の期間、「第6回和牛甲子園」に出品されたとちぎ和牛がフードオアシスOTANI全18店舗で販売され、それに合わせて販売初日の11日、実際に育てた高校生が自ら店頭に立ち、PRを行いました。

11日は、和牛甲子園に出場した県内6校のうち、宇都宮白楊高校・鹿沼南高校・真岡北陵高校・那須拓陽高校の4校の生徒がそれぞれフードオアシスOTANI駅東店・一の沢店・荒町店・永田店の店頭に立ち、お客様への呼びかけや販促資材の配布などを行いました。

高校生たちは「私たちが育てたとちぎ和牛です！いかがでしょうか？」などの声掛けを行い、積極的にお客様とコミュニケーションを取るなど、一生懸命PRをして訪れたお客様へとちぎ和牛の魅力を伝えました。

高校生が育てたとちぎ和牛を購入したお客様は「地元の高校生が、こうして栃木のためにPRをしてくれて誇らしい。これからも応援するので頑張ってほしい」とコメントし、高校生たちにエールを送りました。

宇都宮白楊高校（駅東店）

鹿沼南高校（一の沢店）

真岡北陵高校（荒町店）

那須拓陽高校（永田店）

真岡北陵高等学校にてフラワーブーケの授業を行いました

本会園芸部は1月31日、栃木県立真岡北陵高等学校にて「とちぎの花」を使用したフラワーブーケの授業を行いました。

コロナ禍以降増加傾向にある、ホームユース需要の拡大と県産花きの新規購買層の開拓のため、栃木県内の花屋さんを講師としてお呼びして、生徒それぞれが個性あふれるフラワーブーケを作成しました。

今後もより多くの方に「とちぎの花」をお届けできるよう、PRしてまいります。

県内特別支援学校へ「いちご」「トマト」を贈呈しました

栃木いちご消費宣伝事業委員会と栃木トマト消費宣伝事業委員会は、県内に17校ある特別支援学校へ県産いちご・トマトを贈呈しました。毎年食育や地産地消の一環として農産物を贈呈しており、いちごは28回目、トマトは19回目と歴史ある取り組みです。

2月14日に栃木県JAビルにて贈呈式が行われ、県内の特別支援学校を代表して県立聾学校の野原校長が出席され、本会池田県本部長と中村副本部長より「いちご」「トマト」が手渡されました。

池田県本部長は「今回初めて贈呈する新品種『とちあいか』は、甘みが強く評判が良い。生徒の皆さんには家庭でも食べていただき、家族みんなで栃木の農産物のファンになっていただきたい」と挨拶し、野原校長は「栃木の名産であるいちご、トマトをいただけるのはとてもありがたく、子どもたちも毎年この時期になると楽しみにしている。栄養も豊富なので、栃木の農産物をたくさん食べて強い体をつくってほしい」と話しました。

今回贈呈したいちごとトマトは、2月16、17日の給食で提供されました。

栃木冬春トマトの統一目揃え会を開催しました

本会園芸部は2月2日、「令和5年産栃木冬春トマト第2回統一目揃え会」を開催しました。当日は、県や各JA担当者、市場関係者ら約50名が出席し、生育状況や販売情勢の報告があったほか、出荷規格や申し合わせ事項の確認、カラーチャートを参考にした現物目揃えを行いました。

また、産地と市場間の意見交換も行い、市場関係者からは「春に向けて、栃木のトマトの売り場をしっかり広げていく。売り場を確保するには品質が重要となるので、産地の皆様には規格を遵守した出荷をお願いしたい」とコメントがありました。

黒崎園芸次長は「厳しい社会情勢の中だが、『栃木のトマト』の売り場づくり・認知度向上に重点を置き、積極的な消費宣伝活動を実施していく」と挨拶をしました。

関東東海花の展覧会が開催されました

1月27～29日の3日間に渡り、池袋サンシャインシティにて「第71回 関東東海花の展覧会」が3年ぶりに開催されました。

本展覧会は、一層の花の消費拡大を図ることを目的とし、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する日本最大規模の花の展覧会です。今回の展覧会には、全農主催都県本部として本会も協賛をしており、とちぎ農産物マーケティング協会花き部会の雫部会長や本会園芸部の荒井部長が来賓として出席し、各県の花を見学しました。

その中で開催された品評会には、カーネーション・菊・枝物・鉢物などの全10部門、1,439点が出品され、栃木県からは計142点の出品がありました。

毎年各県が持ち回りで担当しており、今回担当となった愛知県の大村知事は、第71回展覧会の会長として、「生活の中に花を取り入れていくことを伝え、皆様に知っていただき、更に花に関心を持っていただきたい」と挨拶をしました。

新米キャンペーンの抽選会を実施しました

本会米麦部は1月30日、昨年9月中旬から今年の1月までの約4か月間実施した「栃木の新米美味すぎて米んねキャンペーン」の抽選会を行いました。

対象商品は「コシヒカリ」「なすひかり」「とちぎの星」「あさひの夢」などの県産米で、栃木米アンバサダーのU字工事を起用し、栃木米の消費拡大を図るために実施しました。

当日はWEB上で抽選を行い、「S賞」のダイソンコードレスクリーナーや「A賞」のとちぎ和牛など、応募総数6,762通の中から360名の当選者を決定しました。

抽選を行った佐藤米麦部長は「本キャンペーンの実施期間中、県内・首都圏・中京エリアを中心に新CM放映やイベントの開催、様々なメディア・SNSを活用したPR活動に取り組んだ。今後も米産地として消費者の皆様においしい『栃木米』を届けていくとともに、栃木米の魅力発信にも力を入れ、更なる消費拡大を図っていく」と話しました。

県産麦の意見交換を行いました

本会米麦部は2月1日、「令和4年度栃木県麦民間流通意見交換会」を開催しました。当日は実需代表として製粉・精麦会社などの担当者、農水省や県職員などの行政関係者ら約40人が出席し、栃木の麦類について協議、意見交換を行いました。

報告事項として、本所から国内産麦の情勢、県から令和5年産麦の生育概況についての説明があり、本会から県内の集荷実績、販売状況等を報告しました。

また、令和6年産麦に向けた単収設定、需要見込みと生産計画等についての協議を行い、関係者間で活発な意見交換がなされました。本会と県食糧集荷協同組合はその中で、実需各社からの需要数量に対する生産計画案を提示し、ミスマッチの解消及び生産振興に努めることを確認しました。

お知らせ①

とちぎの星をココス・はま寿司で食べよう！！

ココス・はま寿司でとちぎの星キャンペーン実施中！

本会パールライス部は3月15日まで、県内のココス・はま寿司全店舗(※ココス真岡店を除く)で、栃木県産米「とちぎの星」が当たるキャンペーンを実施中です。

現在、県内の『ココス』・『はま寿司』では、「栃木県産とちぎの星100%」を使用いただいております。(一部商品を除く)

「とちぎの星」をより多くのお客様に食べていただきたく、長年取引している株式会社ゼンショーホールディングス様の協力を得て、本キャンペーンを実施しております。

皆様もぜひ、お近くのココス・はま寿司に足をお運びいただき、とちぎの星をご堪能ください。

●**実施期間**：2023年2月16日（木）～2023年3月15日(水)

●**対象店舗**：県内ココス全店舗（ココス真岡店除く21店舗）
県内はま寿司全店舗（14店舗）

●**応募方法**：①店内卓上POPに添付してある二次元コードを読み取り、
キャンペーンサイトへアクセス！
②お米クイズにチャレンジ！
③クイズに正解後、応募フォームに必要事項を記入して応募完了！

●**賞　　品**：精米とちぎの星5kg … ココス・はま寿司　各200名様

商品イメージ

お知らせ②

令和5年度

とちぎフレッシュメイト募集!

（一社）とちぎ農産物マーケティング協会では、とちぎブランド農産物のイメージアップと効果的な普及・浸透を図るため、県産農産物のイメージキャラクター「とちぎフレッシュメイト」を募集しています！県内や首都圏を中心に様々なイベントでとちぎの農産物のPRを実施いただきます。詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡ください。

●募集期間

令和5年2月1日（水）～令和5年5月8日（月）（必着）

●募集資格

①18歳～29歳までの健康で明るい方
（高校生は除く。ただし3月31日までに卒業見込みの方は応募可能）
②栃木県内の在住者で、年間約50回（平日・休日とも）の県内外のイベント等に参加できる方
③他の同様なコンテストに入賞し、令和5年6月以降その主催団体の拘束を受けていない方

●任　　期

令和5年6月1日～令和6年5月31日までの1年間

●お問い合わせ先

（一社）とちぎ農産物マーケティング協会
〒321-0905　栃木県宇都宮市平出工業団地9−25　栃木県JAビル5階
TEL：028−616−8787／FAX：028−616−8715
HP：「カラダにとちぎ」http://www.tochigipower.com/

簡単レシピ

牛肉たっぷりコロッケ

（アドバイス表2022年2月あじわいコースP31）

〈材料〉（2人分）

- 牛肉切り落とし …… 200g
- 塩・こしょう …… 少々
- じゃがいも …… 中1個
- 玉ねぎ（みじん切り） …… 1/2個
- 油 …… 適量
- 小麦粉 …… 適量
- 卵（溶く） …… 1個
- 生パン粉 …… 適量
- 揚げ油 …… 適量
- ソース …… お好みで

■作り方■

1. 牛肉は粗目に刻み、塩・こしょうで下味を付ける。
2. じゃがいもは皮をむき適当な大きさに切って耐熱容器に入れ、ラップをしてレンジ（500W）で5分程度加熱し、熱いうちに潰す。
3. フライパンに油を弱火で熱し、玉ねぎを入れて炒める。玉ねぎが透き通ってきたら牛肉を入れて炒め、肉の色が変わったら火からおろす。粗熱がとれたら②へ加えてよく混ぜ、4等分にして平たく形を整える。
4. ③に、小麦粉、卵、パン粉の順で衣を付け、180℃に熱した油に入れてキツネ色になるまで揚げる。器に盛り付け、お好みでソースをかける。

栃木推進課　管理栄養士
髙橋雲世さん

じゃがいもには風邪予防や美肌を作るために欠かせないビタミンCが豊富に含まれています。じゃがいもに含まれるビタミンCはでんぷんに包まれているので加熱調理をしても損失が少なく効率的に摂取することができます。

ポイント!!

ふれあい食材についてはこちらから!

子牛市場情報　令和4年度2月矢板家畜市場成績書

	性　別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	173	173	1,063,700	154,000	575,433	286(288)	2,006	4,023
	雄	−	−	−	−	−	−	−	
	去　勢	210	208	1,069,200	387,200	746,371	314(288)	2,373	−38,193
	合　計	383	381	1,069,200	154,000	668,753	301(288)	2,214	−22,556
2日	雌	162	161	1,201,200	191,400	564,313	293(292)	1,920	1,861
	雄	−	−	−	−	−	−	−	−
	去　勢	207	204	1,071,400	379,500	702,873	324(290)	2,163	−39,181
	合　計	369	365	1,201,200	191,400	641,755	311(291)	2,062	−20,476
2月期合計	雌	335	334	1,201,200	154,000	570,073	290(290)	1,964	2,976
	雄	−	−	−	−	−	−	−	−
	去　勢	417	412	1,071,400	379,500	724,833	319(289)	2,267	−39,562
	合　計	752	746	1,201,200	154,000	655,543	306(289)	2,139	−21,880
概況	2月の矢板家畜市場は、752頭上場にて746頭が成立し、前年同月比93頭増となりました。平均価格は対前月比雌2,976円高、去勢39,562円安となりました。 軟調な枝肉相場から、2月の矢板家畜市場は価格を下げ、上下価格差のある取引となりました。 購買者数　1日目：147人　　2日目：135人								

○次回開催/2023年3月1日～2日　出場予定:各350頭(4月の開催は、3日･4日です。)

JA全農とちぎ

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ

季節商品のご紹介　トマト

収穫最盛期を迎える栃木のトマトの登場です！
太陽の光をたくさん浴びてすくすく育ち、真っ赤でずっしりと締まった果実は、
甘みと酸味のバランスが良く、コクの深い味わいがやみつきになります。
他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン

だちつぐとちぎ新鮮倉庫

クリック
とちぎ新鮮倉庫　検索

3月の行事

- 1日(水)　矢板子牛市場　畜産部
- 2日(木)　矢板子牛市場　畜産部
- 3日(金)　ひなまつり
- 14日(火)　ホワイトデー
- 21日(火)　春分の日

毎週水曜17:15～　RADIO BERRY

編集後記

3月になり、暖かくなってきました。寒さが苦手で花粉症もないので嬉しい限りです。
今月で今年度も終わりですね。1年間はあっという間だった気がしますが、具体的に1年前の出来事を思い返すと「あれから1年しか経ってない…!?」とずっと前のことのように思います。私だけでしょうか。毎年とっても不思議です。　(ミウ)

JA全農とちぎ通信　令和5年3月1日発行

令和5年度

とちぎフレッシュメイト募集!

とちぎブランド農産物PR大使(22代目)

とちぎが大好きなあなた!
とちぎブランド農産物の魅力を発信してみませんか!

応募締切 2023年 5月 8日(月)

とちぎブランド農産物のイメージアップ活動をしていただける健康で明るい方を募集します。

選出された「とちぎフレッシュメイト」には認定証を交付し、また1年間の活動に対し報奨金、副賞を授与します。
応募方法・応募資格など詳細は裏面をご覧ください。

とちぎフレッシュメイト
YouTube始めました!

とちぎフレッシュメイト
公式YouTubeはこちら!

(一社)とちぎ農産物マーケティング協会

編集・発行／JA全農とちぎ 企画管理課
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9番地25
TEL 028(616)8804
https://www.zennoh.or.jp/tc/

ちきゅうにやさしい みどりをまもる
VEGETABLE OIL INK
この印刷物は環境にやさしい植物油インクと再生紙を使用しています。
私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。
私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。